

変わる朝鮮半島

— 私たちにできること —

6月12日にアメリカのトランプ大統領と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の金正恩委員長が会談し、両国は朝鮮半島の非核化と北朝鮮への安全の保証を確認しました。両国のトップが直接会談したのは歴史上初めてのことです。私たちは米朝首脳会談を朝鮮半島の緊張緩和、平和、安定に向けた過程の始まり、新しい時代の始まりとして歓迎し支持します。

米朝首脳会談に対して日米のメディアは悪意に満ちた態度で酷評しました。「中身がない」「譲歩しすぎ」「だまされるな」等々。このような態度には驚きを禁じ得ません。彼らはまるで北朝鮮が悪の国であり、一方的に武装解除させ、裸踊りをさせる以外にないと考えているようです。偏見や悪意、根深い差別意識を捨てて、北朝鮮を米と同様の一個の独立主権国家と認め、そのトップが朝鮮半島の非核化と北朝鮮への安全の保証で合意したことの意義を受け止めるべきです。

「中身がない」——とんでもありません。米韓が合同軍事演習を中止し、北朝鮮がミサイル実験場破壊と不明米兵の遺骨返還に踏み出しています。双方が段階的・同時的に措置を取り始めています。板門店宣言を受け入れた事で、朝鮮戦争の終結も近いのです。米朝間では非核化と安全の保証の具体的な過程について交渉が進められています。トランプ大統領は、戦争を実行することができず、歴史上最大の制裁で包囲しても屈服させられず、結局話し合いで解決することを認めるほかなかったのです。

すでに朝鮮半島の平和と安定を前提に話は進んでいます。中国は制裁解除を要求し、韓国は開城工業地帯再開の調査を始め、ロシアも韓国までの鉄道連結を提案しています。朝鮮半島の緊張が大幅に減れば、在韓米軍の撤退も現実になります。ところが、安倍政権は①秋田と萩へのイージスアショア建設、②沖縄の辺野古新基地強行、③かつてない大軍拡計画である新防衛大綱と新中期防など、朝鮮半島の平和の流れに逆行する政策を採り続けようとしています。歴史の流れの前に無駄なあがきと言うほかありません。私たちは、朝鮮半島の情勢の大きな変化の下で、それをさらに進めるために何が必要か、何ができるか、日本の軍拡をどう止めるか等を議論したいと思います。是非ご参加下さい。

日時 8月5日（日） 午後1時半

場所 国労会館第2小会議室 参加費 100円

(JR環状線天満駅下車すぐ)

- 内容 ①米朝会談と朝鮮半島非核化をめぐる動き
②日本の植民地支配の責任、朝鮮分断の歴史と戦後責任
③安倍軍拡・新防衛大綱批判 等

リブ・イン・ピース☆9+25

TEL 090-5094-9483 <http://www.liveinpeace925.com> Email: liveinpeace_heiwa@yahoo.co.jp